

2024年度 決算の概要

1 決算額

一般正味財産の部		(単位：円)	指定正味財産の部		(単位：円)
(A) 経常収益	705,137,616		(J) 一般正味財産への振替額	△ 5,374,008	
(B) 経常費用	692,318,868		(K) 当期指定正味財産増減額 (= J)	△ 5,374,008	
(C) 当期経常増減額 (A - B)	12,818,748		(L) 指定正味財産期首残高	214,960,330	
(D) 経常外収益	0		(M) 指定正味財産期末残高 (K + L)	209,586,322	
(E) 経常外費用	237,347				
(F) 当期経常外増減額 (D - E)	△ 237,347				
(G) 当期一般正味財産増減額 (C + F)	12,581,401				
(H) 一般正味財産期首残高	2,451,398,878				(単位：円)
(I) 一般正味財産期末残高 (G + H)	2,463,980,279		(N) 正味財産期末残高 (I + M)	2,673,566,601	

事業活動を示す「一般正味財産の部」では、経常収益705,137,616円に対して経常費用692,318,868円であり、当期経常増減額（収支差額）は12,818,748円となります。さらにテレビ共聴設備機器取替による固定資産除却損等の経常外費用237,347円を減額すると、当期一般正味財産増減額は12,581,401円になります。この額から一般正味財産期末残高は2,463,980,279円になります。

用途制約資金の状況を示す「指定正味財産の部」では、受取寄付金相当の会館施設に係る減価償却費△5,374,008円の一般正味財産への振替を計上し、この額に指定正味財産期首残高214,960,330円を加えると、指定正味財産期末残高は209,586,322円になります。

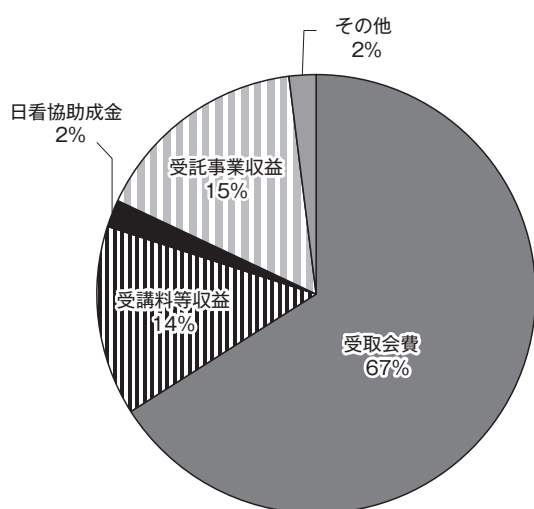
この結果、本会全体の正味財産期末残高は、合計2,673,566,601円となります。

(1) 経常収益

(単位：円)

内 訳	予算額	決算額	構成比	差 異
受 取 会 費	489,900,000	471,339,000	67%	△ 18,561,000
受 講 料 等 収 益	103,043,000	98,028,768	14%	△ 5,014,232
会 館 利 用 料 収 益	38,000	133,760	0%	95,760
日 看 協 助 成 金	17,065,000	16,975,000	2%	△ 90,000
受 託 事 業 収 益	104,628,000	104,947,952	15%	319,952
そ の 他	11,182,000	13,713,136	2%	2,531,136
収 益 合 計	725,856,000	705,137,616	100%	△ 20,718,384

※内訳欄は、正味財産増減計算書の主な科目を記載し、少額な科目については「その他」に一括して計上しています。



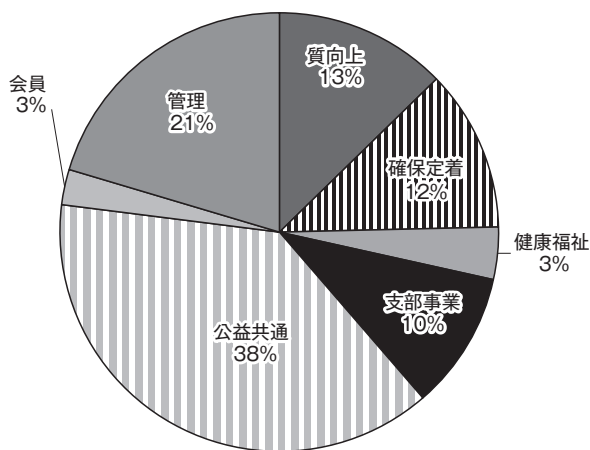
◎収益のポイント（予算との差異の主なもの）

【受取会費】	471,339千円	18,561千円減
・会員数の減	43,200名 → 40,986名	2,214名減
【受講料等収益】	98,028千円	5,014千円減
・研修会受講者数の減	103,043千円 → 98,028千円	5,014千円減
【その他】	13,713千円	2,531千円増
・受入寄付金の増	1千円 → 1,700千円	1,699千円増
・その他雑収入の増	40千円 → 780千円	740千円増

(2) 経常費用

(単位：円)

内 訳			予算額	決算額	構成比	差 異
公 益	質 向 上	研修、学会、医療安全、保・助・看の活動、図書室	114,471,000	93,228,876	13%	△ 21,242,124
	確保定着	ナースセンター・労働環境改善等	88,934,000	81,781,968	12%	△ 7,152,032
	健康福祉	在宅ケア推進、災害看護、健康づくり、広報活動	26,323,000	18,990,513	3%	△ 7,332,487
	支部事業	支部における事業	79,719,000	66,994,663	10%	△ 12,724,337
	公益共通	人件費・維持費・経費	284,636,000	263,380,796	38%	△ 21,255,204
公 益 合 計			594,083,000	524,376,816	76%	△ 69,706,184
収益等	会 員	加入促進、会員に対する福利厚生等	24,719,000	22,237,120	3%	△ 2,481,880
法 人	管 理	本会を運営するために必要な事業	157,842,000	145,704,932	21%	△ 12,137,068
費 用 合 計			776,644,000	692,318,868	100%	△ 84,325,132



◎費用のポイント（予算との差異の主なもの）

- 【質向上】** 93,229千円 21,242千円減
- ・旅費交通費 研修会・委員会等のWeb開催による減
23,185千円 → 14,309千円 8,876千円減
 - ・諸謝金・委員謝金 研修会講師等謝金実績の減
36,108千円 → 32,771千円 3,337千円減
 - ・印刷製本費 教育研修計画印刷単価・印刷部数等の減
4,196千円 → 1,440千円 2,756千円減
 - ・通信運搬費 学会・交流会等案内を協会ニュースへ同封、研修会資料をダウンロードへ変更したことによる減
4,617千円 → 2,268千円 2,439千円減
 - ・消耗品費 事務用品等購入の減
1,408千円 → 602千円 806千円減
 - ・会議費 研修会Web開催・Web配信による講師・委員弁当代の減
1,273千円 → 519千円 754千円減
 - ・会場費 交流会等外部会場を使用しなかったこと及び未執行による減
2,997千円 → 2,368千円 629千円減
 - ・新聞図書費 図書室書籍購入実績等の減
3,506千円 → 2,959千円 547千円減

- 【確保定着】** 81,782千円 7,152千円減
- ・旅費交通費 ヘルシーワークプレイス講演会をWeb開催にしたことや研修会Web参加及び学会参加実績などの減
3,550千円 → 1,374千円 2,176千円減
 - ・人件費 ナースセンター職員1名退職による減
49,811千円 → 48,354千円 1,457千円減
 - ・光熱水料費 電気料等の使用実績による減
1,607千円 → 1,066千円 541千円減

【健康福祉】		18,991千円	7,332千円減
・通信運搬費	協会ニュース発送方法及び発送数変更による減	5,506千円 → 3,484千円	2,022千円減
・印刷製本費	協会ニュース印刷部数の減	10,382千円 → 8,401千円	1,981千円減
・旅費交通費	災害支援委員会のWeb開催及び日本災害看護学会年次大会現地開催中止（台風）による減	2,637千円 → 737千円	1,900千円減
・委託費	ホームページ改修費用等の減	6,070千円 → 5,166千円	904千円減
【支部事業】		66,995千円	12,724千円減
・会場費	会場変更の減	13,267千円 → 8,010千円	5,257千円減
・印刷製本費	資料等作成実績の減	12,117千円 → 8,435千円	3,682千円減
・旅費交通費	旅行雑費、交通費支払い実績の減	12,667千円 → 9,188千円	3,479千円減
・諸謝金	講師謝金支払い実績の減	5,162千円 → 3,622千円	1,540千円減
・消耗品費	消耗品購入実績の減	4,199千円 → 2,876千円	1,323千円減
・委員謝金	会議・作業等報酬支払い実績の増	15,290千円 → 18,429千円	3,139千円増
【公益共通】		263,381千円	21,255千円減
・人件費	1名新規採用見送り、1名異動による減	131,219千円 → 123,362千円	7,857千円減
・光熱水料費	電気料等の使用実績の減	17,779千円 → 11,609千円	6,170千円減
・修繕費	長期修繕計画に基づく修繕工事の減	8,136千円 → 3,929千円	4,207千円減
・租税公課	消費税納付額の減	14,452千円 → 13,196千円	1,256千円減
・印刷製本費	資料印刷等コピー機使用実績の減	6,276千円 → 5,361千円	915千円減
・会場費	会員懇談会・看護管理者懇談会会場使用実績の減	850千円 → 248千円	602千円減
・消耗品費	コピー用紙、封筒等の購入実績の減	2,829千円 → 2,249千円	580千円減
・会議費	会員懇談会・看護管理者懇談会弁当代の減	880千円 → 320千円	560千円減
・委託費	支部Web研修サポート及び警備料等の増	25,004千円 → 26,696千円	1,692千円増
【会員】		22,237千円	2,482千円減
・印刷製本費	北海道看護協会パンフレット及び入会促進ポスター未作成による減	929千円 → 0円	929千円減
・通信運搬費	会員システムクラウド利用料及びナースシップ関連送付費用の減	2,240千円 → 1,729千円	511千円減

【管理】		145,705千円	12,137千円減
・旅費交通費	支部運営会議をWeb開催したこと及び理事会・支部長会議支払実績の減	8,516千円 → 5,745千円	2,771千円減
・人件費	人事異動による減	98,408千円 → 96,249千円	2,159千円減
・光熱水料費	電気料等の使用実績の減	4,332千円 → 2,622千円	1,710千円減
・支払寄付金	寄付の実績がなかったことによる減	1,000千円 → 0円	1,000千円減
・支払手数料	受講料等収納代行手数料等の減	5,486千円 → 4,567千円	919千円減
・印刷製本費	総会用予算書及び候補者の公示印刷部数等の減	3,234千円 → 2,390千円	844千円減
・委託費	謝金システムの改修がなかったこと及び封入作業費等の減	7,353千円 → 6,800千円	553千円減

2 資金調達及び設備投資の実績

資金支出を伴う資産の取得は下記のとおりです。

(単位：円)

設備投資の内容	見 込	実 績
会員管理システム改修 (災害支援ナース新要件対応)	2,000,000	0
会員管理システム改修 (研修分類変更対応)	1,000,000	330,000
電気設備工事 (テレビ共聴設備の更新)	0	772,329
電気設備工事 (テレビ電波障害対策設備の更新)	0	1,030,093

3 公益社団法人の要件となる財務三基準

当協会は、公益法人として次の財務三基準を満たすことが要求されます。

- (1) 収支相償：公益目的事業に係る収入が費用を超えないこと

収益 459,469,076円 < 費用 524,376,816円

- (2) 公益目的事業比率：公益目的事業に係る費用は、総費用の50%以上でなければならないこと

$$\frac{\text{公益目的事業費用}}{\text{総費用}} \Rightarrow \frac{524,376,816\text{円}}{692,318,868\text{円}} = 75.7\%$$

- (3) 遊休財産額の保有制限：遊休財産額が遊休財産額の保有上限額を超えないこと

※遊休財産額とは、法人の純資産のうち用途の定まらないものの額

遊休財産額 366,892,492円 < 遊休財産額の保有上限額 524,376,816円

●事業区分別収益および費用

(単位：円)

区 分	収 益	費 用
公益目的事業会計	459,469,076	524,376,816
収益事業等会計	6,408,750	22,237,120
法人会計	239,259,790	145,704,932
合 計	705,137,616	692,318,868